

一 般 質 問 通 告 表

平成24年第4回始良市議会定例会（平成24年11月27日（火） 午前9時開会）

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 萩原 哲郎	1. 拉致問題解決策について	<p>1978年に吹上浜で北朝鮮に連れ去られた、市川修一さん（当時23歳）と地元、始良ニュータウン出身の増元るみ子さん（当時24歳）の拉致事件から8月12日で34年を迎えた。</p> <p>北朝鮮が初めて拉致を認めた、2002年の日朝首脳会談から10年の節目を迎えたが、いまだ解決の糸口は見え、被害者家族は焦りを募らせている。</p> <p>2002年10月15日、生存の被害者5人を帰国させ、その後10年間何の進展もなく、いら立ちと腹立たしさを覚える。</p> <p>時間との勝負、北朝鮮の体制が変わった今こそ、2人の生存を信じ、世論に訴え続けていきたい。</p> <p>拉致被害者家族会は、平成24年を「勝負の年」と位置付け、1000万人を目標に署名活動が続ける。</p> <p>あらゆる場所で、拉致被害者救出のために署名記帳を行なっているが、肝心の地元始良市に記帳場所がない、非常に残念である。</p> <p>（1）始良市も、拉致被害者救出のための署名する場所、記帳台を一刻も早く設けるべきと思うが、地元、増元るみ子さんの拉致問題に関して、旧始良町・始良市は今までに、どのように協議し、解決策を見出してきたのか、その内容を示せ。</p> <p>（2）12月16日には、拉致問題に関する講演会が予定されている。期間は短い、それまでに多くの署名を集める</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 萩原 哲郎		べきと思うが、考えを示せ。	市長
	2. サボールランドパーク始良の施設について	<p>平成5年7月から9月にかけて、鹿児島地方は波状的に集中豪雨災害に見舞われ、災害復旧工事で地域住民の憩いの広場として活用されるよう建設された公園で、サボールランドパーク始良が、県内初の砂防公園として完成してから、15年目を迎えた。</p> <p>地域住民が健康目的のため、早朝から暗くなるまで、ウォーキング・ジョギング等で汗を流している。</p> <p>設置用具の破損や、道路の陥没・側溝の土詰まり、イノシシの出現などで住民からの苦情が絶えない。</p> <p>(1) 道路の陥没・側溝の土詰まりは、早急に対処していただいたが、木製階段の塗装・歩行道路のマットは1枚目2枚目もはがれ、ボロボロになっていて見苦しい。2年前に要望していたが、2年経っても改善されない理由を示せ。</p> <p>(2) サボールランドパーク始良は、夜中にイノシシが多く出没する。罾を仕掛けたとの事であったが、成果を示せ。</p>	市長
	3. 始良市の登山道改善と景観対策について	<p>(1) 白銀坂登山道は、霧島錦江湾国立公園に認定されてから、登山客もはるかに多くなった。</p> <p>しかし、7ヶ月がたった今でも、登山道や景観は少しも変わっていない。</p> <p>J Tの森は、錦江湾を見渡す絶景の場所にもかかわらず、立ち木が多く非常に景観が悪い。(観光ボランティアガイドの説明と現物が一致しない。)</p> <p>また、中腹にトイレもなく、特に女</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 萩原 哲郎		<p>性の登山客が困っている。 今から紅葉の秋、登山客も一層増していく。</p> <p>① 登山道の改善と景観対策、トイレの設置等の考えを示せ。</p> <p>② 距離の標示（登った距離と残距離）も設置できないか。</p> <p>（2）旧始良町時代に烏帽子岳登山道を、旧始良町と北山地区で整備してきたが、現在、北山地区のボランティアで登山道を整備しているが、資金不足で前に進まない現状である。 市に、補助金のお願いをしたが、予算計上していないと断れたとの事であるが、平日には、あいらびゅー号を貸し切って、烏帽子岳登山を楽しみに、市外地からもこられると聞く。 登山道はある程度整備されているが、急勾配も多く、登り易いように改良の必要がある。（ロープ・階段等） 北山地区ボランティア団体に補助金を与え、行政と協議し、景観の良い烏帽子岳を登り易いように改良して始良市の登山道として観光に結び付けたら良いと思うがどうか。</p>	市長
	4. 北山地区堂山・木場公民館地域活性化について	<p>高齢化率 60%を越える山間地域に位置する、北山校区でいろんなイベントを開催し、地域活性化に取り組んでいる。</p> <p>堂山公民館は本年度、雨戸・シャッター取り付け工事や畳の取替え、トイレ及び水回りの改修工事を行い、以前よりは少しは良くなったと思うが、一番大事な老朽化・雨漏りの対策がなさ</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 萩原 哲郎		<p>れてない。</p> <p>屋根全体の工事・建物全体の塗装となると莫大な経費に繋がる。</p> <p>また、木場公民館も床が傾いたり建物自体老朽化が激しく、住民から改善の要望をお願いしたが、裏が山であり、崩壊の恐れがあるため改善できないと聞く。以前、他の場所に建て替える計画もあると聞いた。</p> <p>(1) 今後、堂山・木場公民館対策をどのようになされていくのか考えを示せ。</p> <p>(2) 幸風園跡地を全面芝(現在は半分)を張り、多目的広場としていろんなイベントを考案し、地域住民の活性化を望んでいるが、今後の幸風園跡地の使い道を示せ。</p>	市長
	5. 始良市民農園利用・条例について	<p>市民農園が建昌城跡地に今年秋にオープンした。</p> <p>設置目的は、市民が余暇を利用し農作物を栽培することで、農業への理解や市民間の交流促進を図り、始良市の農業の活性化と、食育の推進並びに潤いのある市民生活を実現すること。</p> <p>始良市は有機農業を推進しているので、農薬の使用は禁止される。</p> <p>全体で 80 区画、使用料は 1 区画 25 平方メートル、月額 300 円で貸し出しする。</p> <p>(1) 当選者には、市外居住者もあったとの事であるが市民農園は市に住んでいる人が利用するのではないのか。</p> <p>(2) 当選した中に市民は何人・市外</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		<p>者は何人か。</p> <p>(3) 市民農園は人気が高い、今後、他に市民農園を増やす計画はないのか。</p> <p>(4) 今回は平成 24 年 10 月から平成 27 年 3 月 31 日まで 2 年半、次回は平成 27 年 4 月から平成 30 年 3 月 31 日まで 3 年間の使用許可期間となるが、初年度は土作りから始まるので不公平が生ずる。初年度だけは 1 年間引き延ばす考えはないか。</p> <p>(5) 農作物は 5 月～6 月ごろが収穫の最盛期と聞く。期間をずらす考えはないのか。</p>	市長
2. 堂森 忠夫	1. 行財政運営について	<p>(1) 行革では国・県からの権限移譲の条例整備を進めているが、移譲の主旨や今後の行財政運営において、どのような影響があるか。</p> <p>(2) 年平均 6 名の人員削減に市民は少ないとの意見を聞くが、権限委譲で今までにない事業を行うには、移譲された課では職員の不足が発生すると予想するが、このギャップにどのように対応するか。</p> <p>(3) 少子高齢化で今後は税収が見込めない方向に進むなかで、地方の仕事は多くなるが国からの補助金は減額するのではと将来を危惧する。 今までの業務運営内容を継続すると、財政的に厳しくなるのではないか。この課題を乗り越えるために、今後の行財政運営は事業内容によっては民間企業の発想でコストダウンを図る施策</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 学校教育環境について	<p>を取り入れるべきではないか。</p> <p>(1) 全ての校区において通学道には、危険箇所や道路沿いの雑木がおおい被さりスクールバス運行に支障を来す場所や、暗い道路等の課題が多いが、この解決策をどのように進めるか。</p> <p>(2) 給食事業で3地区毎の給食配食数は幾らか、給食に係わる全ての維持経費は幾らか、1人当たりの市の負担は1食につき幾らになるのか地区毎に示し、今後の改善策をどのように図るか。</p> <p>また、3地区それぞれ事業運営に特徴があるが、今後の財政を考慮すると加治木給食センター方式が良いが、働く職員の立場から判断すると始良地区の方式が周りには歓迎される。今後、このバランスは調整と理解が必要と思うが、どのように対応するのか。</p> <p>(3) 永原小学校での親子と地域の方と一緒に食事をする給食会に多くの参加者があった。</p> <p>学校給食を食べるのは初体験の先輩の声に、「全てに感謝したい有りがたい世の中だ。」「私達も学校に協力するが、少子化で厳しい財政だろうが、存続に努力してほしい。」との声が多かった。</p> <p>学校と給食業務に感謝を込めて、「給食に感謝する月間」を制定し全校で実施できないか。</p> <p>(4) 永原校区では、ふるさと学寮を実施して来年は10年目を迎えるが、体験学習の場としては色々な心情体験を乗り越えて、強い心が育まれている。</p>	<p>市長</p> <p>市長 教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>教育委員長</p> <p>市長 教育委員長</p>

氏名	質問事項	質問の要旨	質問の相手
2. 堂森 忠夫		<p>今後は各地区などで、長老や先輩達から校区の歴史や文化を学ぶなど、ふれあい体験で文化や生きる力を学ぶ、体験学習の場づくりとして、校区の方から理解の得られる民間 NPO 団体等と今以上に連携を深め多種分野に於いて活動支援の展開を図れないか。</p>	
3. 河東 律子	<p>1. 民間共同住宅等の建築に関する条例について</p> <p>2. 校庭の排水対策</p>	<p>近年民間の共同住宅等の建築が増加しているが以下のことについて問う。</p> <p>(1) 共同住宅等の建築がどのくらいあるのか。過去10年間の推移はどのようになっているか。(どのくらいの規模の住宅が、どのくらいあるのか。)</p> <p>(2) 管理人がおかれている実態はどうなっているか。</p> <p>(3) 自治会との連携はどうとらわれているか。</p> <p>(4) 共同住宅等における自治会加入率はどのようになっているか。</p> <p>(5) 周辺住民とのトラブルの未然防止、自治会との連携等を考慮し、民間共同住宅等の建築に関する条例を作る必要があると思うがどうか。</p> <p>今年の小中学校の運動会は雨に見舞われ、中学校は当日が、小学校は前日が雨で、開始時間をずらして行った学校、日にちを延期した学校もあった。</p> <p>(1) 各学校の状況はどうであったか。</p> <p>(2) 校庭の排水対策は十分と考える</p>	<p>市長</p> <p>教育委員長</p>

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
4. 神村 次郎	3. 住宅リフォーム助成制度について	<p>(3) 始良公民館・改修計画の中の子育て支援室の計画内容と具体的な施設内容を問う。</p> <p>(4) 施設の整備手法として、市内の民間（店舗）施設の借用で整備できないか問う。</p> <p>(1) 市民の住宅の、居住環境の向上及び長寿命化の促進を図るとともに、市内の地域経済の活性化、雇用の安定化のために、個人住宅の改修工事を行う市民への助成はできないか問う。</p> <p>(2) この制度は、地域経済に大きな波及効果をもたらすものである、どのような認識か問う。</p> <p>(3) 市内の、中小零細業者の経営状況をどのように把握しているか問う。</p> <p>(4) 耐震補強工事とセットで助成できないか問う。</p> <p>(5) 子育て世帯・高齢者世帯等優先の事業として検討できないか問う。</p>	市長
5. 出水 昭彦	1. 県道 40 号伊集院蒲生溝辺線の道路災害の復旧見込みと、周辺交通の利便について	<p>県道 40 号伊集院蒲生溝辺線が、平成 24 年 7 月 13 日に発生した上久徳と住吉の境での災害で全面交通止めになり、多くの利用者に不便をかけている。</p> <p>(1) 復旧作業も始まっているが平成 24 年度内完成の目途であるのか。</p> <p>(2) 同地点は現在、幹線道路としては県道 42 号線に迂回し、生活道路とし</p>	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
5. 出水 昭彦	2. 情報公開について 3. 公共施設の節電対策	<p>ては住吉池下を合わせ使うしかない状況である。付近の農道を1か所でも繋げば利便性が大きく向上するが、改良の考えはないか。</p> <p>(1) 平成22年第4回定例会で質問したHPの動画配信は、研究するとの事であったがどうなったのか。</p> <p>(2) 始良市HPの地図データ表示方式として、ASP方式の統合型GISを導入してはどうか。 (先進地事例、大分市、浜田市、栗原市等がある。)</p> <p>LED照明の導入及び切り替えを進める考えはないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>